

加じき **広報**

全家庭に、もれなく配布

第200号

47.9.1発行

発行 鹿児島県姶良郡
加治木町役場

編集 総務課文書係

印刷 吉屋印刷所



駅前大通りに咲くカンナ

創刊

二〇〇号記念

昭和47年

9月号

■ メ モ 人口/19,213 男/9,076 女/10,137 世帯/6,043 (8月1日現在)

昭和25年2月25日発行

◇町政たより◇

木造町役場
加治木町役場
月2回発行
発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

◇町政たより◇

木造町役場
加治木町役場
月2回発行
発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

◇町政たより◇

木造町役場
加治木町役場
月2回発行
発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

◇町政たより◇

木造町役場
加治木町役場
月2回発行
発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

◇町政たより◇

木造町役場
加治木町役場
月2回発行
発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

発行所
印刷所
電話

き、錦江校の鉄筋改築があったり、溝辺町との町村合併が一度は、きまつたあとで溝辺町側からことわっています。上水道も付設されました。こう見てゆくくと町の一步一步のあゆみがよくわかるようです。最近の数年になりますと、住民のかたのご要望を満たそうと教育や福祉の面で年々相当な予算が向けられているのが目立ちます。土木関係も結果論から見ますと年々大したこともないようですが、数年ごとにくらぶかえりますと、大部伸びているのを感じます。また、行政そのものが複雑になってくることを証明しています。空港、縦貫道と本町発展の基盤も整いつつありますが、広報も一段と充実させて、一層皆さんに親しまれるよう仕向けてまいりたいと思います。

「ほんのこつな、広報かじき
がもへ二百号になったとなー」
この人は声をはずませて、よろこ
んでいた。

今から二十二年前、戦後の荒
廃の中で広報かじきの前身「加
治木町政だより」第一号が誕生
した。このときの編集者が現企
画課長の中元邦夫
さんであり、そ
の後も、ほとん
ど手がけた。

「いやー二十
二年前じゃらいな、
まだ二十五歳の青
年じゃったわけだ」と白いもの
が多くなった頭に手を当てて、
中元さんは発刊当時を回顧して
くれた。

当時は出版物も日刊紙以外に
ないところで、発行について町民
から喜ばれるとともに大いに期
待された。有識者の多い加治木
のことでへたなことは書けない
まずい紙面は作れない……と未
経験だけに責任を強く感じ、親
しまれる紙面づくりには人知れぬ
気苦労も多々あった。



こうして号を増すごとに木佐木正一郎さんと長谷場唯二さんらが、よくきて「お前は良かんと作っどね。今月号はまだか」とか「ぜひ一戸一枚配付にしてくれ、保存がしにくい」など催促や激励をうけたことが忘れられない。また、ある先生が誤字脱字や送りかたを毎号添削して電話で教えてくれるなど、当時はこんな良き誼の協力者もいた。このころ印刷所は鹿児島市内の馬場印刷所で、校正や再校も市内まで出かけた。あるとき印刷所の騒音やインクのおいで意識盲ろうとなり、ついにダウソン、半日を印刷所のうす暗い宿直室に寝込んだこともあった。

編集のつかれが原因だと診断「このときはかりは、ほんのこて、こまつた」と目を細めて笑う。

うれしかったことは昭和三十一年の県コンクールに初入賞。寺園知事から賞状をうけたとき「やりがいがあった」とつくづく感じたという。

古い活字の創刊号を手にながら中元さんの思い出ばなしはまだまだ長く続いた。



△婦人会員の踊るパレード

夏まつり

太鼓おどり

▽太陽国体にも出場する加治木の太鼓おどり



案外知られていない 自転車の交通ルール

マイカー族がふえる一方では、健康面と手軽さから自転車が見直され、ちょっとしたブームになりそうです。

これから秋にかけては、絶好のサイクリングのシーズンです。ところが、自動車と違って、自転車に乗る場合の注意事項や交通規則



は、あまり知られていません。国家公安委員会では、道路交通法に基づき「交通の方法に関する教則」を告示し、その中で歩行者や自転車の運転者についても、交通上の心得などを示しています。そのうち、自転車に乗る人の心得として、規則に触れる点をいくつかあげてみましょう。

▽まず、片手運転や混雑する道路での二人乗りはいうまでもないが、通行区分では「自転車と歩行者専用」の標識があるところ以外、歩道を通ってはいけません。

▽走り方では、車などのすぐうしろに続いたり、また他の自転車と並んで走ったり、競走をしたりしてはいけません。ただし、「並進可」の標識があるところでは二

土壌を健全に そだてよう

農家の皆さん、土壌をいまい度考えてみましょう。土壌は肥料や農薬の使いかたによって悪化して健康を害しつつあります。土壌の健康をとりもどすため

につぎのことに心がけましょう
▽石灰や燐酸、珪鉄などの土壌改良の資材を与える
▽たい肥や緑肥、農林畜産の廃棄物などの自給肥料を与える
このことを達成するために、いろいろ工夫して仕事をすすめてください。

台までは並んで走ることができ
▽交差点で右折するときは、まず青信号で交差点の向う側までまっすぐ進み、そこでいったん止まって向きを変え、次に右折する方向の信号が青になってから進むこの場合、赤信号や黄信号であっても、自動車や原動機付自転車は

青の矢印によって右折できることがあるが、自転車は進めない。
▽なお、荷物を積むときの制限は、重さ三十キロ、高さ地上から二メートル、長さは荷台の長さ三十センチを加えた長さなどとなっている。

シンナー・ボンド等に

よる危害を防止しよう

シンナーやボンドは、今まで自由に販売、購入所持ができましたが、昭和47年8月1日から、法律（毒物および劇物取締法）で制限され、これを守らないと処罰されます。

次のことをよく守って正しい取り扱いや使用をするようにしてください。

○所持等の禁止

シンナーやボンドを吸入するなどの目的で所持できなくなりました。これに違反すると3万円以下の罰金に処せられます。

○販売や授与の禁止

シンナーやボンドを吸入したり、吸入するために所持することを知らず販売したり、授与（ただでやること）することはできません。すなわち正しい使用目的のない者に販売または授与することはできません。

これに違反すると2年以下の懲役、もしくは5万円以下の罰金またはこれが併科されます。

○乱用の防止対策

家庭では……シンナー・ボンド等のおそろしさを正しく認識し、子どもの態度に注意する。

購入する場合は保護者が自ら購入し、その保管管理に注意する。

販売店では……青少年に販売するときは、使用目的をただし、乱用のおそれのあると思われる者には販売しない。

買おうとする者に対しては、その有害性について説明する。

事業所では……シンナー・ボンド等を用いる事業所では、その保管管理を十分にし、容易に持ち出せないようにする。従業員への指導を十分行なう。

地域社会では……乱用のおそれのある少年を発見したときは、すぐにその父兄か警察などへ知らせる。

地域のひとびとが協力しあつて、防止につとめる。

○乱用のおそろしさ

シンナー・ボンド等を吸入すると、その主成分である有機溶剤の作用によつて、意識がもうろうとなり、自己の抑制力がなくなるという、きわめて危険なものです。

テーマ “町内環境問題”

まずお互いの心がけ

対話集会

町婦人会
生活学校

町婦人会の生活学校では「生活を守る全国対話集会」に呼応してこのほど環境衛生問題について保健所の上野府課長、町長、福祉課長、建設課長らを専門メンバーに対話集会をもちました。

約五十人の研修メンバーから、畜産公害、道路や下水溝のことで手きびしい問題が投げかけられましたが、町長、課長から道路や河川の所管のことなど説明し、意見を尊重して処理を約束しました。出された問題は、大要つぎのとおりです。

▽町内の下水溝を整備してほしい
①…岩原の国道側溝のどぶさらえをほしいが「ふた」を取りはずせるようにしてもらいたい。
②…竹下、田中、中福良、永原公営住宅付近の道路整備と排水
③…田中の網掛川提防の内側にくずれがある―河川提防の補強
▽ちりをどこへでも捨てないようにしたい―危険物を必ずきまつた日に出すよう指示してくれ
▽高井田の豚の汚物を提防や通路に持ち出すことをやめさせてほしい―吉原方面の鶏舎豚舎の悪

臭がたえられない。注意してほしい。

▽犬をつなぐのはよいが、朝夕の散歩時どこにでも脱糞させないよう飼主に指示してほしい。

▽ネコの害はなんとかできないか最後に、お互い行政機関だけに頼らず、みんなで町内の環境整備に注意しよう―と結論づけました。

問 本籍とは、どういうものですか。また、住所とは異なるものでしょうか。

戸籍相談

シリーズ

答 ①本籍とは「戸籍の所在場所」ということです。新戸籍を編製する場合には、必ず本籍が定められ、その本籍と定められた場所のある市町村、すなわち、本籍地の市町村長が戸籍を編製し、その市町村役場に備えます。

戸籍に関する届出は、非本籍地でなされても、すべて本籍地に送られ、そこで戸籍の記載がなされます。このように本籍は、戸籍の所在する市町村を明らかにする役割を果たすとともに、当該戸籍を表示する役割をもち、また、戸籍を戸籍簿に編綴整理するのにも利用されます。

②しかし、日本国籍を有しない外国人は、本籍を定めることはできません。したがって戸籍の編製は日本人だけに限られ、外国人については編製されません。

③明治五年戸籍法では「本籍は定住地であつて、先祖代々墳墓の地であり、特殊な縁故のある場所に定めるもの」とされていましたが、今日では日本の領土内であれば、いずれの場所に本籍を定めるのも自由であつて、特殊な縁故の地であることを要しないのはもちろん、生活の本拠たる場所であることの必要もなく、また、すでに他人が本籍と定めている場所を選定しても差し支えありません。さらに本籍を他のいずれの場所に変更することもできます。

したがって、本籍は住所や現実の生活とはまったく無関係な抽象的観念であつて、場所をもって定められていても、それは戸籍を表示する役割をもつにとどまるものです。

とつさの時に、避けられますか その運転で

秋の全国交通安全運動

子どもと老人の保護

9月22日～10月1日

秋の全国交通安全運動が九月二十二日から十月一日までの十日間全国いっせいに展開されます。今回は、子どもと老人の事故防止を重点に行なわれます。歩行者、運転者ともども、つぎのことに注意しましょう

＜車の運転者＞

①学校、幼稚園、保育園などの付近では、子どもが突然とび出してくるので、十分注意するとともに幼児や学童を見つけたら、まずブレーキを踏んで徐行し、子どもの動きを見ながら安全な速度で運転する。

②乱暴な発進や急停車をしない。発車するときは、車の前後や下に子どもがいないか、どうか

をよく確かめる。

③横断歩道の左がわ付近に、横断しようとする者がいるときは、必ず一時停止をする。

④児童や幼児などが乗り降りするため停車中の通学、通園バスまたは乗合バスの側方を通過するときは、必ず徐行して安全をはかる。

＜保護者＞

夕食後のだんらんなどを通じてつとめて交通安全の問題を取りあげるようにし、とくにつぎの点をくり返し言い聞かせておくこと。

①近くに横断歩道か歩道橋がある

＜道路を利用する人＞

危険な場所で遊んでいる子どもたちを見かけたときは、すすんで声をかける「愛のひと声」運動をさらに推し進めるとともに、道路を横断しようとしている老人を見かけたときは、みんなで安全に誘導するようにしましょう。

②車の直前直後は、決して渡らない。

③路切りの近くなど、危険な場所では、決して遊ばない。交通の激しい道路で、自転車に乗らない。

なお、幼児が屋外で遊ぶときは保護者が、必ずつきそって危険のないようにしなければならぬ。

地震

なによりも、まず

火の始末

9月1日・防災の日

火が出なかった

新潟地震

死者の一番少なかった新潟地震と、死者の一番多い関東大地震とは、その規模が同程度の規模であったのに、どうしてこのような大きな差ができたのか。

その一番の原因は、民家からの火災が発生しなかったことです。ふだんから「地震のときには何をしておいても火の元を断つ」ということを、実地に行なった新潟県住民の努力によるものです。

大地震のときの心得

九月一日は「防災の日」です。この九月一日を防災の日としたのは、大正十二年九月一日、午前十一時五十八分四十五秒に起こった関東大地震を記念したもので、台

風、高潮、津波、地震などの災害についての認識を深め、これに対処する心がまえをふだんから準備させることを目的として、昭和三十一年六月に設けたものです。

わが国は三年に一回ぐらい、大きな被害を伴う地震に襲われるので、被害を最少限に食い止めるためには、個人個人がとつさの場合の心得を、つね日ごろから心がけるべきです。

九月十五日

敬老の日

老人を敬愛し

長寿を祝おう

九月十五日は「敬老の日」です。多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、みんなで長寿を祝う日です。

この十五日から二十一日までの一週間は「老人福祉週間」として全国でいろいろの催しなどが行な

われます。この行事は、とかく孤独でみじめな生活に陥りやすい老人の生活を明るく、ゆたかなものにするため、すべての人が老人福祉についての関心と理解をふかめ、また、老人自身も時代とともに生きる意欲を盛りあげようとするも

のです。

町では「敬老の日」にあたり、町内の八十歳以上のお年寄りに敬老年金をお贈りして、およそこの意を表することになっています。ことしは九十歳以上のお年寄りが十九人（男三、女十六）いらっしゃいます。敬老の日（十五日）には、これらのお年寄りたちを町長が各戸に訪ね、ご長寿をお祝いします。

おじいさん、おばあさん、これからも元気で過ごしてください。

ておくことが大切です。

そこで今月号は「防災の日」にちなんで、大地震のときの心得を次に掲げました。

①丈夫な家具などに身を寄せよ
屋内にいたら、まず丈夫な家具などのそばに身を寄せたり、机やベッドの下にもぐって、その後の進退を考えよう。二階以上の建物は、一階が先につぶれるのが普通なので、あわてて階下へかけおるな。

②あわてて戸外に飛び出さな
揺れがおさまらないうちは、屋外は屋根がわら、窓ガラスの破片などが落ちてきたり、塀が倒れてきたりして、かえって危険だ。

③狭い路地や塀のわきをさけよ
がけや川べりは、地割れや地すべりが起きやすい。水や砂を吹き出す地割れは、とくに危険である

④何よりも、まず火の始末
地震の揺れより、火事の方が被害を出しやすい。石油コンロやプロパンのガスボンベなどは、ふだんから固定しておく。こまめに火を止める習慣をつけておく。

⑤一分すぎたら、まず安心
大地震では、ふつう激しい上下動が始まり、家を破壊したりするおもな揺れが続くのは一分前後だ。それがすぎたら、火の元に気をつけ、機敏に適切な行動を始めよう

⑥人命救助には消火が第一
火を出すな。出たらすぐ消せ。物に心をひかれ、大きな荷物を持ち出さな。

⑦山くずれ、がけくずれに注意
山地では山くずれ、傾斜地ではがけくずれに注意。山津波は、とくに危険だ。

⑧津波や浸水に注意
海面の変化を警戒し、異常を認めたら、すぐ避難せよ。テレビやラジオなどの津波警報に注意。

⑨確実な情報に従う
デマに迷うな。デマをつくるな。余震は時がたつにつれて落ちついていくものだ。

⑩秩序を守り、衛生に注意
われがちな行動は、混乱のもと

⑪避難は徒歩で、自動車は使うな
自動車は、道の左がわに寄せて止めておけ。

⑫不意の地震に、ふだんの用意

▽携帯ラジオ、懐中電灯の用意

▽飲み水、消化用水、消火器などの用意

▽家具類の固定、発火しやすいものの始末。

▽非常時の避難方法は、日ごろから考えておく。

話題 あれこれ



二百人が参加 納涼水泳大会

第一回の納涼水泳大会が、八月十九日午後六時半から町営プールで開かれました。会場には、出場者の父兄や夏のよいのプールサイドに涼を求めている観覧者、出場者役員など二百人が参加。

二つの青い水銀燈の光がプールの水面に映える中で、つぎつぎに競泳やレクリエーションが行なわれ水と光のショーにみんなウットリでも、出場者が以外と少なかったことが惜しまれます。来年の大会に期待したいものです。



滝を見ながら ソーメン流し

竜門滝をながめながら、ソーメンが味わえる新名所「ソーメン流し」が、本町にもお目見えし、町営温泉を利用する人たちから喜ばれています。

場所は、高井田にある町営温泉飛竜閣のすぐ上で個人経営によるもの。すでにソーメンや鯉料理など、訪ずれる人たちのノドを楽しませていきます。これまで町営温泉を利用する人々から、早くこのような施設を望まれていただけに、これから遠方からの温泉利用者もふえ、整備中の観瀑公園とともに、加治木の新しい名所となり、にぎわうことでしょう。

男は城南・女は城西 地区対抗の親子大会

第六回地区対抗の男子親子ソフトボール大会は九月二十日、十三チームが出場、加中と加高グラウンドで行なわれました。好試合が続出、結果は次のとおりです。

▽優勝城南 ②竜門東元 ③錦江第二 ④同第三の各地区
また、ことしから女子の地区対抗ソフトベースボール大会も同じ日に行なわれ、出場九チームが柵城小グラウンドで競いました。この結果、城西地区が大会初の優勝を獲得しました。
▽優勝城西 ②錦江第二 ③竜門西浦・城西の各地区
参加出場のみなさん、ご苦労さまでした。

消防本部の庁舎

みろく前に完成

加治木、蛤良、蒲生、溝辺の四カ町による蛤良郡西部消防組合の本部庁舎が、みろく前の国道付近に、このほど完成しました。

鉄筋コンクリート二階建（一部六階）暖房設備付き七六七平方メートル、敷地三、一四〇平方メートル、総工費三千七百三十五万円。一階に待機室、仮眠室、通信室、炊事室、車庫、倉庫、二階は消防長室、署長兼事務室、会議室など。さる八月二十一日から下宿馬男消防長以下二十八人の消防士たちが、溝辺、蒲生分遣隊とともに、四カ町の救急、消防業務に当たっています。



急行「高千穂」が 火災？緊急停車

さる八月二十三日の午後一時四十五分ごろ、加治木駅通過の急行「高千穂」が、機関車の台車付近からものすごい煙を出して走行しているのを駅員が発見、急行はホームの手前で緊急臨時停車。
サイレンとともにかけつけた蛤良西部の消防士や町消防団員らが急機内までホースをつなぎ、青色の煙にもうとうとつづまれたデゼル機関車の台車付近の消火にあたりました。原因は「ブレーキの火花が付近の油ゴミに燃えついたのでは」ということです。
同急行はピンチヒッターの蒸気機関車に引かれ約五十分遅れて発車。かけつけた人たちが約二百人の乗客をホッとさせました。



チェンジや駅もあつて交通至便だから、まとまつて市街をつくり、周囲の土地は広いから工場をつくれと、二十五万都市構想にたゞひとつ、この地域が例示してある。私たちは数年前からこんな考え方で進んでいるところだが、一握りの土も大事に、無駄や悪害のない所たらしめたいと急する。

国体の成功と県民の肉体、健康そして精神力の向上発展を、この機に期待する。